

SIFA TIMES

2022年11月号



ゲーム、仮装コンテストなどでハロウィーンを楽しもう！

皆様のご来場をお待ちしております！

ハロウィーンパーティ 10/22(土)

目次：

ニュースフラッシュ	2-3
イベント情報	3-4
マレーシアの紹介	4-5
新ALTの紹介	6
豆知識	6

場所：しこちゅ〜ホール
小ホール・エントランスロビー
時間：14時～15時30分
定員：100名（要申込）
参加費：一般400円、会員200円
締切：10/17（月）まで
国際交流協会28-6014
sifa@city.shikokuchuo.ehime.jp

*状況により中止や変更となる場合があります。



NEWS FLASH

【活動報告】第14回 イングリッシュキャンプ

8月26日（金）に新宮少年自然の家で日帰りの第14回イングリッシュキャンプを実施しました。一昨年（第12回）と異なり、今年は山間部にて活動をし、当日の気温は30℃以下で風もかなり吹いたため、1日楽しく過ごせました。市内の中学3年生15名の参加者と4名のALTたちは4班にわかれ、英語でのゲームと活動をしました。

簡単なオリエンテーション（開会式）から始め、午前中はミステリーバッグを選び、卵を保護するためのエッグドロッププロテクターというゲームをしました。続いて、建物の2階から卵を落とすまでに、4つのチェックポイントでリレーをし、対決しました。お昼はホットドッグとアメリカで有名なお菓子、スモアの作り方をアメリカ出身のALTから教わりました。



1日お疲れ様でした～！



午後からはバルントース、水風船使って英語しりとりゲームを楽しみました。その後、ローテーションでは4つのステーションがあり、スピーキング、リスニングと単語のゲームをしました。最後はクロージング（閉会式）で当日の優勝チームを発表し、賞品と賞状を参加者のみなさんに配り、解散しました。



高温多湿でしたが、最初から最後までスムーズに活動を行うことができました。学生は日常生活で英語で話すチャンスはほとんどなかったため、一日ネイティブスピーカーの人と交流ができてすごくよかったと思います。



【活動報告】結団式と説明会
中学生国際意識啓発事業



9月7日（水）に第15回中学生国際意識啓発事業の結団式と説明会を福社会館多目的ホールにて行いました。昨年と異なり、コロナ禍の影響で海外に行けなく、今年は東京へ行くことが決定されました。東京では、Tokyo Global Gateway (TGG)で外国にいるような空間での体験やJICA地域ひろばでの研修などで英語でのコミュニケーションに挑戦する活動をする予定です。9月21日（水）からは2か月にわたり、4回の事前研修を行う予定です。事前研修では英会話を中心に、SDGs、TGG、JICAなどについて詳しく学び、準備をしていきます。

【活動報告】
英語カフェ②



9月11日（日）に市民交流棟にて今年の2回目の英語カフェを行いました。参加者10人、3名のALTとCIRを含め、4つのグループに分かれ、様々な話題について英語で話し合いました。45分程度会話をし、参加者は別のグループに移動し、軽い雰囲気でも話を続けました。今後の英語カフェのご参加も、お待ちしております。

EVENT INFO

マスクの着用など
感染症予防対策
をお願いします！

外国のお菓子づくり体験！

地域おこし協力隊からのお知らせ
植物由来のみ使用する、ハンガリーの国民的なお菓子バウムクーヘンの先祖と言われる「クルトシュ・カラーチ」のお菓子作りを体験してみませんか。



日程：11/3（木）（文化の日）
時間：10時30分～13時30分
（ただし、なくなり次第終了）
場所：霧の高原 バーベキュー炭火炉
（霧の高原メイン駐車場より徒歩約1分）
参加費：無料
問い合わせ：地域おこし協力隊
大廣（新宮公民館）0896-28-6410

外国人向け防災事業

四国中央市在留の外国人向けに防災研修を実施します。地震や消火などを体験してみませんか。



日程：11/27（日）
時間：9時30分～12時
場所：防災センター1階
定員：30名
参加費：無料
対象：市内在留外国人
締切：11月18日（金）

マレーシア料理教室

マレーシアの国民食ともいわれる、大人気のご飯、Nasi lemak「ナシレマツ」の作り方を一緒に学んでみませんか。

日程：11/30（水）、12/4（日）

時間：10時～12時

場所：（11/30）保健センター 2階
栄養指導室

（12/4）川之江ふれあい交流
センター 調理室

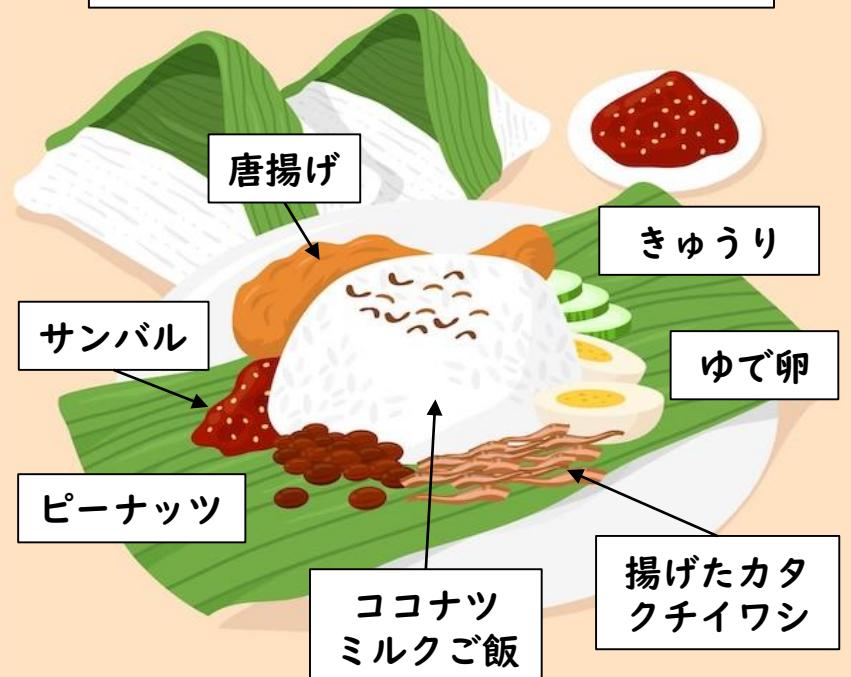
定員：20名

参加費：一般1000円、会員500円

締切：11月24日（木）

*状況により持ち帰りになります。

ナシレマツとその基本的なおかず



東南アジアの中心に位置するマレーシア 出典：Google

マレーシアは東南アジアの中心に位置し、マレー半島とボルネオ島に含まれています。北部はタイと国境を接し、南部はシンガポールと近接しています。一方、ボルネオ島はブルネイ、インドネシアと国境を接しています。マレー半島とボルネオ島を含めて、国土の面積は約33万km²（日本の9割程度）であり、2022年時点で、人口は3,351万人になっています。

1998年に完成した高さ452mのツインタワーは世界で9番目の超高層ビルであり、首都のクアラルンプールのシンボルとも言われます。マレーシアを構成する13州と首都は国旗にて14の横縞で表しています。黄色の月と星はイスラム教の象徴であり、青色の正方形部分は人民の統一という意味があります。



首都クアラルンプールと13州 出典：Adobe Stock



首都クアラルンプール 出典：Adobe Stock

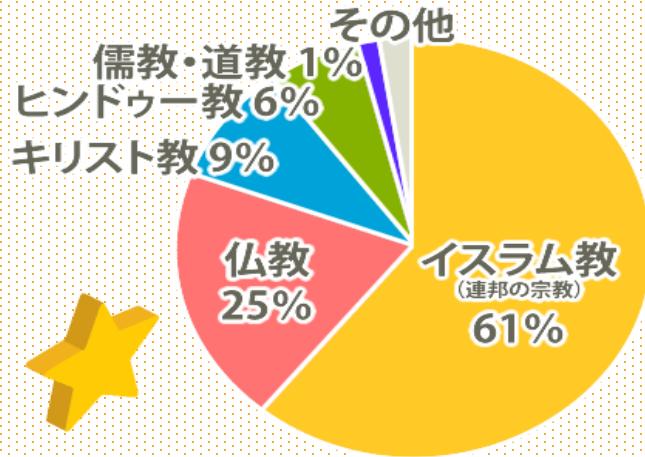
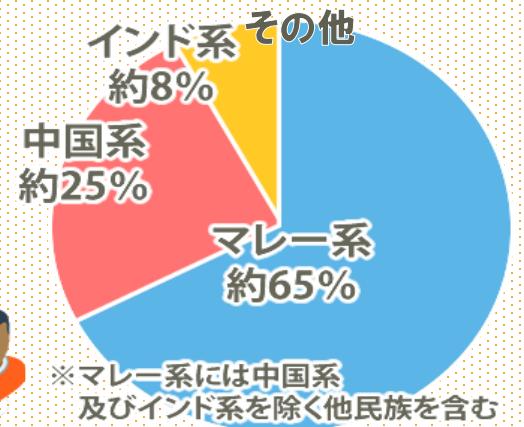


国際交流員の出身地について
マレーシアってどんな国？

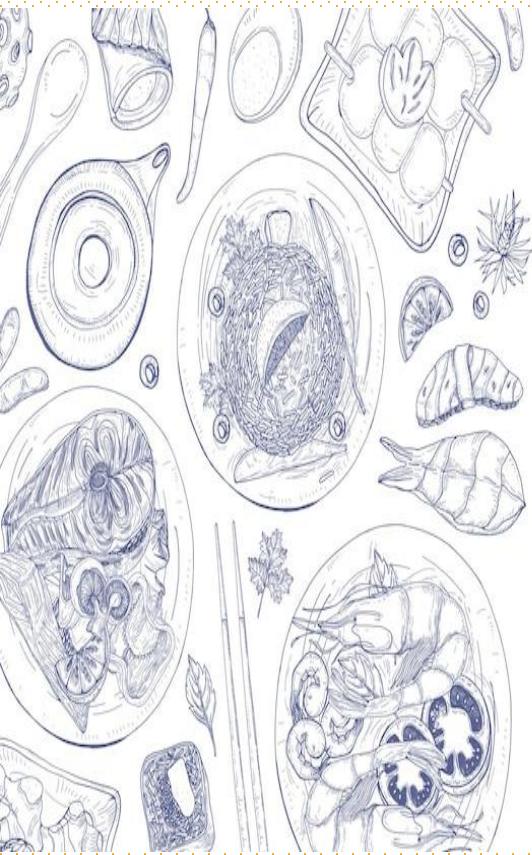
日本と異なり、マレーシアは多民族の国家です。マレー系、中国系、インド系が主にマレーシア半島を占めていますが、ボルネオ島では、カダザン ドゥスン、バジャウ、ムルート、ケダヤン、イバン等の 10 を超える民族グループがほとんどを占めています。

公用語はマレー語であり、他の共通語は英語、中国語とタミール語等です。バイリンガルの人々は普通で、トリリンガルも稀なことではありません！

それぞれが異なる言語・文化・宗教を持ち合わせているため、多様性をすごく感じることができます。マレーシアの祝祭日は通常、各宗教的なお祝いやお祭りによるものになります。例えばイスラム教徒は一ヶ月に及ぶ断食「ラマダン」が終わるとやってくる、待ちに待ったお祝いの日、「ハリラヤ」はマレー系の人々にとって、一年で最もおめでたい日の一つでもあります。この日マレーシアはどの民族・宗教であっても、祝日となります。他宗教のお祝いでも同じく、仏教の春節、ヒンドゥー教の*ディーワリー、キリスト教のクリスマスも当然祝日となります。

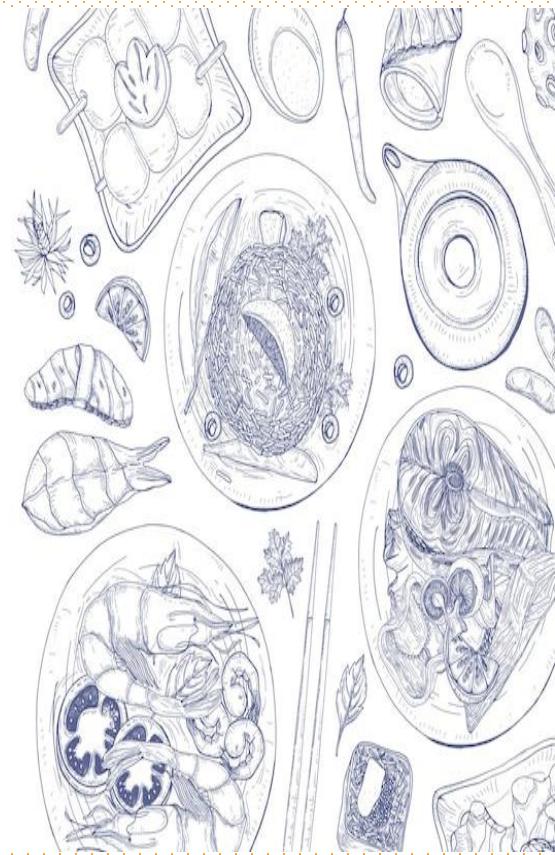


出典 : global-study.jp/malaysia/about



そして、多民族という多様性は食文化まで影響を及ぼしました。どれを取っても日本料理とは似ても似つかない、マレーシア料理を代表する「マレー系」の料理、じわじわとした辛さと酸味が特徴的で、定番メニューには、マレーシアのチャーハン「ナシゴレン」や串焼き「サテー」と「ナシ・レマツ」等があります。

主に南インドからの移民が多く、インド系料理の定番は、バナナリーフの上にカレーやごはん、「バナナリーフカレー」と朝ごはんとして有名な「ロティ・チャナイ」が定番です。また、日本人に一番口なじみがある「バクテー」や「スチームボート」等は中国系の定番な料理です。



***ディーワリーとは？**

ディーワリーはインド系のヒンドゥー教のお祝いの一つであり、今年(2023年)は10月24日(月)に祝われます。「光のフェスティバル」ともよく呼ばれ、ヒンドゥー暦のカールティカ月の新月の夜に5日間かけて祝われます。インド系中でも最も人気があり、開催が待ち望まれているお祭りです。

出典 : pixabay





新ALTの紹介

My name is Shayla Moore, and I am a new ALT in Shikokuchuo City. I am from North Carolina in the United States. I am excited to learn more about Japanese culture. My hobbies include studying languages, visiting waterfalls, writing and drawing. I look forward to new experiences and to furthering international community efforts in Japan.

どうも、はじめまして！四国中央市の新ALT、シェイラ・ムーアです！アメリカのノースカロライナ州出身です。日本の文化についてもっと学ぶことにわくわくしています。趣味は語学の勉強、滝巡り、執筆と絵を描くことです。日本で新しい経験をし、国際的な取り組みを促進することを楽しみにしています。



豆知識

ハロウィーンの由来



ハロウィーンは毎年10月31日に祝われる祭りです。クリスマスと違い、キリスト教の祭りではないことをよく勘違いされてしまいます。古代、アイルランドに住んでいたケルト人（Celts）が篝火を灯しを灯し、幽霊を追い払うために仮装をするケルトの祭りでした。

8世紀にグレゴリウスIII教皇は11月1日をすべての聖人を称える日と決めました。また、前夜はAll Hallows Eve「オール・ハローズ・イヴ」として知られ、後にHalloween「ハロウィーン」になりました。

外国では日本と同じく、現代のハロウィーンはTrick or treat「トリック・オア・トリート」とJack-o'-Lantern「ジャック・オ・ランタン」の他、仮装やお菓子を食べるなどの祭りの日へと進化しました。



出典：history.com/topics/halloween/history-of-halloween

お申し込み・お問い合わせ

会費のお振込先

四国中央市国際交流協会 (SIFA)
地域振興課国際交流係 山川・仁野・シャフィナズ

伊予銀行三島支店 普通 1596241
四国中央市国際交流協会 会長 合田勝一

TEL : 0896-28-6014
メール : sifa@city.shikokuchuo.ehime.jp
ホームページ : sifaweb.org



ATMにて伊予銀行のカードでお振り込むの方は手数料無料です。新規で、お振込みいただく方は事務局に一度ご連絡ください。